故郷で働く

Work at hometown

阿蘇市商工会青年部リレーインタビュー

8月15日に行われたなみの高原納涼まつりでも司会を務め、持ち前の明るい笑顔とトークでイベントを進行した。

Work 2

福田 京花

Voice

Profile

1985年生まれ、31歳。宮地。熊本YMCA学院情報ネットワーク科を卒業後、銀行員などを経て2012年に“Voice”を起業。フリーMCとして阿蘇内外をはじめとした、さまざまなイベント司会を務める。

人生を懸けて表現するもの―

―この仕事を始めたきっかけ

4年前の九州北部豪雨災害で商工会青年部のボランティアに参加したのがきっかけです。同じ地域を思う仲間のために行動する姿を見て、私もそうなりたい、阿蘇に腰を据えて仕事をしたいと思い起業しました。

―仕事のやりがいは

今の時期は地域の夏まつりなどの司会をさせていただく機会が多く、来た人がその地域を好きになってもらえるような時間をつくれたとき、楽しそうな姿を見たときに嬉しさを感じます。手づくりのイベントが多いので、地域性を大切に伝えることができればと考えています。

地元の式典や祝賀会など、節目節目でお仕事として関われることが嬉しく思うし、やりがいにもなっています。

―仕事で難しいと感じることは

伝えたいことを的確に皆さんが心地よく感じるように伝えることが一番難しい。今は技術を磨くためプロの方の個人レッスンを受けつつ、MCの先輩に直接教えてもらったり、現場で場数を踏んで、伝わる喋りを心掛け、日々勉強しています。

―これから阿蘇で働く人へメッセージを

阿蘇に腰を据えて地域に根ざした仕事をして故郷を誇りに思えるようになれたらかっこいいなと思います。自分が育った故郷を好きになってもらいたいです。

―福田さんにとって仕事とは

私にとって仕事とは『人生を懸けて表現するもの。』仕事を通して地域に根ざして地域を伝える仕事をしていきたいと思っています。

～青年部イメージアップ大作戦！～　地域の皆様から『👍いいね！』と言われる青年部を目指して！

地産地消 Cooking!

食生活改善推進員協議会

器提供：工房ゆう

ネバネバ夏野菜そば

材　料（4人分）

- **そば（波野そば乾めん）** 2束
- **オクラ** 1～2本　**山芋** 1/4～1/3本
- **なめこ** 1袋　**キュウリ** 3本　**乾燥わかめ** 約5グラム
- **ミニトマト** 4個　**卵** 2個　**梅干し** 2個
- **ミョウガ** 1個
- **青シソ** 適量
- **めんつゆ** 適量
- **カボス酢** 適量

（ミョウガ・青シソ：薬味）

作り方

1. そばを固めにゆがいておく。（たっぷりの湯でゆがくと均等に熱がとおる）
2. オクラは薄めにスライスする。山芋、キュウリはすりつぶす。なめこはさっとゆがく。わかめは水に戻しておく。ミニトマトは輪切りにする。卵は大きめのいり卵にする。梅干し（種をとる）、ミョウガ、青シソは小さく刻む。薬味のミョウガ、青シソ以外は写真のように盛り付ける。
3. めんつゆとカボス酢を10：3くらいの割合で合わせお好みの量を作り、薬味をいれる。ネバネバ夏野菜そばにぶっかける。

キュウリはすりつぶすと色がとてもきれいなうえに、すりつぶしてあるのでお野菜をたくさん摂れます。夏の暑さで疲れた体に、野菜とそばでさっぱりとしたレシピにしました。

問一の宮保健センター　☎22-5088

元嶋 健（たけし）さん（23歳）　住所：宮地

熊本県草地畜産研究所　勤務

趣味 読書、ランニング

特技 ランニング

好きな人のタイプ 面白い人

阿蘇の好きなところ 自然が多く食べものが美味しいところ

仕事の内容 肉用牛に関する試験研究

仕事で日頃から心がけていること 早めにやるべきことをこなすこと

一言コメント 西湯浦にある草地畜産研究所では、阿蘇地域の草資源を活用した試験研究に取り組んでいます。阿蘇地域の草原の保全に向け、今後も試験研究を推進していきます。

フレッシュマン

阿蘇市で働く元気なフレッシュマンを募集しています！自薦他薦は問いません。
[対象] ①阿蘇市民 ②阿蘇市内で働く人 ③仕事を始めて5年以内 ④おおむね30歳未満の男女
[問い合わせ] 総務課秘書広報係 ☎22-3111　（メール）pr@city.aso.lg.jp

阿蘇ユネスコジオパーク
ASO UNESCO GLOBAL GEOPARK

探訪

21 熊本地震とジオパーク

阿蘇谷の「亀裂」はなに？

今回の熊本地震では、阿蘇谷や南阿蘇村の一部で地面にたくさんの亀裂が確認されました。この亀裂は、断層が地表に現れた「地表地震断層」という考えや、断層ではなく激しい震動によって形成された「地割れ」だという考えなど、さまざまな見方がなされています。

断層とは、「岩石の破壊によって生ずる不連続面のうち、面に平行な変異のあるもの」と定義されています（地学事典による）。つまり、圧縮されたり、引っ張られたり、横にずれたりする力が加わることによって地層が割れて、食い違いができた状態ということです。

一方、今回の亀裂の多くは、元々「無田」という地名のところにできたという、地元の人の情報もあります。この「無田」とは、九州に多くある地名らしく、湿地性の地域に付けられた名前のようです。

このようなことから考えると、阿蘇谷にできた亀裂は、断層が直接地表に現れたものというより、強烈な揺れによって弱い地盤のところにできた「地割れ」という方がいいのかもしれません。しかしながら、この地割れ群はバラバラにあるのではなく、直線上に分布しているという特徴があり、大きく見れば阿蘇谷に伏在する断層を示している可能性もあります。

跡ヶ瀬地区の「地割れ」

空から見た（航空写真判読による）布田川断層付近周辺の地表の亀裂分布図

（国土地理院データ）

阿蘇地域は平成 26 年９月２３日（日本時間）、世界ジオパークネットワークに加盟認定されました。
本ページでは、阿蘇ユネスコジオパークの見どころ「ジオサイト」を毎月紹介していきます。

阿蘇 広報あそ　2016年9月号　No.140

発行／阿蘇市役所　熊本県阿蘇市一の宮町宮地504番地1
TEL0967-22-3111㈹　FAX0967-22-4577
編集／総務課秘書広報係
印刷／有限会社イケダ印刷　熊本県阿蘇市内牧531番地6

阿蘇市ホームページ
http://www.city.aso.kumamoto.jp/
阿蘇市Facebookページ
http://www.facebook.com/asocity